

(別紙様式)

平成 28 年度 北極域研究共同推進拠点 共同研究等報告書

申請区分: 萌芽的異分野連携共同研究 共同推進研究
 産学官連携フュージビリティ・スタディ
 共同研究集会 産学官連携課題設定集会

研究課題名: 「シベリア北極域鳥類多様性保全のための国際共同研究体制の構築」

研究期間: 平成 28 年度

共同研究員	氏名	所属・職名
研究代表者	立澤史郎	北海道大学大学院文学研究科
研究分担者(拠点外)	澤 祐介	一社)バードライフインターナショナル東京・事業開発部長
	池内 俊雄	雁の里親友の会・事務局長
研究分担者(拠点内)	内田 雅己	国立極地研究所・准教授

【研究の内容】

CAFF(北極評議会動植物保全ワーキンググループ)およびラムサール条約では、北極域の生物多様性保全のために、シベリアと日本を含む東アジア・オーストラリアフライウェイにおける希少鳥類の移動ルートの解明が急務とされている。そこで本事業では、絶滅危惧種(VU)・国天然記念物であるコクガン(*Branta bernicla*)を例に、これまで個別に調査を行いつつあった日本(民間・大学)、ロシア、中国、アメリカの研究者を集め、統一かつ最新的手法を用いた国際共同研究(移動ルート調査)を立ち上げるためのミーティングおよび予備調査(共同での捕獲・発信機装着)を平成29年3月17日から19日までの3日間、函館市臼尻地域にて、共同研究集会事業と連動して行った。ここで捕獲・発信機装着された個体は、ロシア連邦サハ共和国の北極域まで順調に移動しているとみられ、平成29年7月には移動ルートに関する位置情報を衛星経由で取得できる予定である。



今回標識された個体



観察されたコクガンの群れ(中央黒色、手前はカモメ類)



現地調査(予備調査)のようす

【研究論文や著書等】

・位置情報取得後論文発表予定。

【研究発表】

なし

【特許等】

なし

【アウトリーチ、取材、その他】

なし